

技術士 1 次試験に合格して



山田 紗衣
(やまだ さえ)

勤務先

株式会社 ドーコン

農業部

〒004-8585 札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4 番 1 号

TEL 011-801-1580 FAX 011-801-1581

E-mail sy1720@docon.jp

■ 専門：農業部門

1. 自己紹介

私は東京生まれの東京育ちで、大学進学にあたり北海道へ出てきました。大学時代は農学部でバイオガスに関する研究をしていました。授業で初めてバイオガスについて知った時は、不要とされるものからエネルギーが取り出せるなんて、なんてこった！と驚いたのをよく覚えています。

昨年(2014年)より現在の会社に就職し、農業にまつわる用排水、灌漑等に関する事業のコンサルティング業務をしています。仕事内容は初めてのことばかりで、知ること、覚えること、考えることであっという間に一年が過ぎてしまったように感じます。

2. 受験動機

「技術士」という言葉は、入社前から幾度も言われていたため、なんとなく意識はしていましたが、どのような資格なのかはほとんど分かっていませんでした。会社に入ってみると、建設コンサルタントという仕事を行う上で、技術士の資格をもつことの重要さを知り、まずは一次試験を受験することが必要と感じ、受験に至りました。

3. 受験に至るまで

1次試験受験にあたり、社内でのバックアップが充実しており、上司が厚意で受験生を集め、就業時間後に何度も試験対策の講習を開催してくださいました。内容は、受験に対する心構え、出題動向の分析から過去問解説まで、忙しい中時間を割いてとても丁寧に教えてくださいました。

社会人ともなれば、自分の意思で、時間を作り、

問題を解決していくべきなのかもしれません。しかし、なかなかモチベーションが上がらないのも現実で、このように勉強する機会を作ってフォローしてくださったことは、今回私が一次試験に合格できた大きな要因だったと思っており、とても感謝しています。

試験対策は、主に過去問を解くことに時間を充てました。なかでも専門科目の農業分野は、理解しやすいことも多く、また興味を持って勉強を進められたのではかどりました。しかし基礎科目では学生時代に避けてきたような分野からの出題も多く、ほとんど1からのような勉強になることもあり、心が折れそうになりました。

4. 受験後

さて、受験を終えた私は、解答の公表を受けて自己採点を行いました。しかし、複数問検討して回答をしていた私は、どの答えを解答用紙に記入したか分からなくなるというミスをしてしまい、結果採点ははっきりせず合格ラインの上下をさまよう形になってしまいました。

合否通知が家まで送られてくるまで確認しなくていいかと思っていところ、合格発表日当日、そわそわする上司。「なんの報告もないが、もしかして、いや、また来年もあるしな、、、」「あの、まだ調べてないだけなんです、、、」「…そうなのか。」見かねた上司が合否を調べてくれる始末。本当に、なんとか、無事に、合格することができて良かったです。

今後は、様々な業務で経験を積み、知識や技術を身につけ、資格に頼ることなく名実共に信頼されるような技術士となれるよう、努力していきたいです。